

波紋 Ripple

発行者：森松株式会社 編集者：小原龍一
小坂美香
松井宣和
伊藤雅典

創刊号：1985年7月

No. 309号

平成23年3月
2011 Mar.

わくわくチャレンジ



1月31日から2月3日までの4日間、名南中学校より5名の2年生が職場体験に訪れました。彼らには、本社工場では製品の箱詰め作業。要工場ではデスクマットの仕上げ作業などを行なって頂きました。慣れない現場作業でしたが、無事4日間出社拒否もなく、修了しました。彼らに将来どんな職業に従事したいか聞いて見たところ様々な回答が帰ってきました。水野さつきさん（ペット施設の世話係り）・水野羽流さん（イラストレーター）・広瀬莉奈さん（芸人）・山田堅斗くん（洋食飲食店経営）・友斉司くん（教師）でした。広瀬さんの芸人には驚かされましたが、将来テレビで拝見させて頂くこととしましょう。悲しいかな、製造業でもの作りをしたいというような返答はありませんでしたが、夢を持って、志高くこれからの人生を送って欲しいものです。

伊藤 雅典(製造部)

「塩ビものづくりコンテスト」

社長 森 直樹



寒い時期が続いております。先日、私はインフルエンザを患い週末を含め5日間自宅待機せざるを得ませんでした。普段の自己管理も油断すると、大きなロスにつながることを実感しました。皆さんも気をつけてください。

さて、弊社内でも告示しておりますが、初の試みとなります。日本ビニル工業会主催の、「塩ビものづくりコンテスト」。コンテストのテーマは「新たに切り拓く、PVCの可能性」。塩ビという素材で分野を問わず様々なアイデアとデザインを募集するというものです。オープンなコンテストですので、一般の方々からどのような作品が出るのか、非常に楽しみなところです。また、このコンテストによって塩ビという素材の利点の再認識、また塩ビの再評価に繋がることを期待しております。

ものづくりという言葉は広く浸透しておりますが、実際、ものをつくるということはいくつもの技術の積み重ねであり、これは非常に奥の深いことです。シートを成型すること一つとっても、平滑さ、厚みの均一さなど高品質なシートを作ることにも何十年というノウハウの積み重ねがあつて今私たちの販売しているシートがあります。また単純に生産するだけではなく、求められる品質を最小限のコストで作ろうと努力することもものづくりの技術でしょう。

今回のコンテスト、当然ながら弊社からもエントリーいたします。普段の仕事の経験、また個々の視点からのユニークな作品がどのような評価を受けるか、楽しみにしております。

「八百長の意味は？」

黒松 康郎（東京オフィス）



最近相撲の八百長が話題になっていますが、子供のころから相撲を見ていて7勝7敗で負けたら大関陥落の力士が、いつも勝っていた記憶があります。危機迫ったらいつも勝つものかと思いつながら、そうそうあんたが大関からいなくなったら来場所面白くないし、今場所は体調が悪かったからサーブミス、来場所頑張ってくれと思っていました。子供心でありながら八百長を容認していた気がします。今八百長を追及している偉い人たちはその頃の方。満員御礼という相撲を国民は楽しんで観戦していたのだろうな。そういう人が追及されないでまだ若いこれからの力士が解雇処分されるのはどうなのかと思いつながら、そうやっぱり社会は変わってきたと自分に納得させています。

先日、谷垣自民党総裁が「カド番だから八百長相撲に乗ってくれ、と頼まれても話に乗れない」と発言していたが、過去にはまあまあと言いながら乗っていたのかな。それも八百長ということか。談合、過去にはたくさんあった。今は少なくなつた、これも八百長だったか。マスコミも厳しく不倫とか追いかけてまわして追及される芸能人とかいるかと思いきや、奥さんが自殺しても次の日から話題にもならないし、悪さしているのに事務所を守られテレビで話題にもならない芸能人もいる、これも八百長じゃないのと思いつながら、大人の世界と思つて納得していたりします。矛盾していることがいっぱいあるが、やっぱりいろんな部分で昔以上に厳しくなつていると感じる。比例して心が貧しくなつていないのかな。相撲だけではなく、昔はゴールデンタイムにプロレスの中継やっていたなあ。楽しんだなあ、と感じる。相撲もテレビで見ることがなくなるのかな。日本人の楽しみはどこに行くのかな。余裕がなくなつていく今の時代、心の豊かさを見つけないと中国にのみ込まれたりしてとを感じる。最近日本はGDPも中国に抜かれて、将来は中国から出稼ぎで帰ってくる日本人が増えて、日本も2月が正月になるかと笑っている自分がある。いつもでも笑いだけで済んでほしい。厳しさだけではなく、日本人の楽しみ、心のゆとり、価値観を見つけてみたい、最近思う事である。

「宇宙（ソラ）」

加藤 雅昭（営業部）



皆さん、近頃夜空を見上げたことはありませんか？先日、子供と天体図面を見ていたが、なんかおかしい。なんだろうこの違和感、よくよく見てみると太陽を中心とした太陽系の図面が書いてある。ご存知のとおり「すいきんちかもくどつてんかいめい」と順序良く並んでいるのだが、なんか縮尺っておかしくない？と思いつ、いろいろな事典等をもて図は似たりよつたり。地球って直径12742kmの回転楕円体（これはどの本も同じでした）、これを1cm（本にはこれくらいの大書きに書いてあった）とすると・・・天文年鑑によると最短軌道半径は1.471×10¹¹m、最長軌道半径は1.521×10¹¹mとあります。ま、ですから軌道平均距離は1.496×10¹¹mとして計算してみると・・・げげ、なんと11740.692cmということになるんです。地球が1cmで太陽は117m先にあることになってしまいます。地球が1cmで太陽は117m先にあること信じてしまう家の子供たちは本くらの距離しかないと思つちゃつてます。学校では教えんのかな？？その太陽と地球の117mの間にあるのは4mmの水星と8mmの金星があるだけ。そういえば少し前に惑星直列とかいって騒いでたけど、これで互いの重力が引っ張り合えるのかな？あ、木星はでかい、なんと11cmもある。しかし太陽からは90m離れている計算になる。じゃあ太陽は？太陽の大きさは地球1cmに対してなんと109cmになります。でかいなあ、でもっと大きい星は？生まれてからまだ10万年ほどの原始星ですが、おうし座のプレアデス星団（すばる）の近くにIRSSという星があります。この星の直径は18億Km。太陽のおよそ10600倍です。つまり地球を1cmとすると、直径2.9Km！って半端じゃないでかさの星があります。

まだまだいろいろと調べてみましたがこの続きはまた次の機会に。宇宙、それは人類に残された最後のフロンティア・・・確かスタートレックの一番最初の言葉ってこれでしたよね。

YES！脱喫煙

近年、健康面やタバコの値上げ等の諸事情により禁煙する人が増えていきます。当社でも昨年12月頃より四名が禁煙表明を始めて約三ヶ月が経過しました。今回は禁煙の近況をQ&Aで伊東・西垣・吉岡・安井に波紋委員の小原が突撃インタビューをしました。

Q. なぜ禁煙を始めようと思ったのですか。

伊東:A. 吸う場所が無い・身体を考えて・周囲の環境。

西垣:A. タバコの値上げがあったから・・・。

吉岡:A. 値上と根性試し。

安井:A. 値上げにより、もともとは節煙していましたが徐々に本数が減り、これならいけるかも？という理由です。

Q. いつ頃から禁煙を始めたのですか。

伊東:A. 2010年12月1日

西垣:A. 2010年12月29日から・・・

吉岡:A. 2010年11月30日

安井:A. 買い置き分が無くなった12月初旬です。

Q. ガムやパッチ、さまざまな禁煙グッズがありますがどんな禁煙グッズを使用しましたか。

伊東:A. 「離縁パイポ」と飴・ガム・MINTIA。

西垣:A. 禁煙グッズは使用していません。

吉岡:A. 市販のガムのみ後は根性だけ。

安井:A. 一切無し。気合！

Q. 禁煙での禁断症状は起きましたか。

伊東:A. 食後と夜の酒席での食事では今も起こる。

西垣:A. まだ、起きてはいません。

吉岡:A. ひどい。

安井:A. しょっちゅう。から時々に変まりました。

Q. 禁煙後、何か変化はありましたか。

伊東:A. 体重の大幅UP・上半身の大幅サイズUP。

西垣:A. 何も変化はありません。

吉岡:A. お腹がすく、眠たくなる、めしがうまい。

安井:A. 体重3kg増。最近、喫煙代わりの間食を控えています。

Q. 実は隠れて吸っているんじゃないですか。あれ？動揺してるように見えますが大丈夫ですか。

伊東:A. 1本吸っても、欲しい時だけに吸っても止めれるのであれば、今でも吸いたい。

西垣:A. 大丈夫です。

吉岡:A. ぜんぜん大丈夫。

安井:A.

Q. 最後にこれから禁煙の決意をした方々に一言お願いします。

伊東:A. 周囲に必ず禁煙表明をして、後戻りできない環境を作る。

西垣:A. 禁煙すれば年に一度は家族旅行に行けますよ。

吉岡:A. 諦めずにがんばろう。

安井:A. 誘惑に負けないでね！

本日はどうも有難うございました。



禁煙宣言

3月の予定

5日(土) 第1土曜日休み

10日(木) 柘植克子さん誕生日

12日(土) 第2土曜日休み

(休業実施日)

成瀬勝英さん誕生日

松井宣和さん誕生日

19日(土) 第3土曜日休み

21日(月) 春分の日

25日(金) 生産会議 12時～13時

CS向上会議 14時10分～15時

経営会議 15時30分～16時20分

30日(水) 久保田裕子さん誕生日



「ウォーキング」

大橋 康成(配送部)



今さらですが、ウォーキングとはお散歩ではなくて歩く運動です。「歩く運動」というのだから、健康維持や健康増進が目的。簡単にはダイエツト運動にもなるのは知れた事です。最近では、朝、昼、夜問わずウォーキングしている人をよく見かけます。数年前とは変わり近所でもウォーキングをしている人がとても増えたので人びとの健康意識が、とても強くなってきているのでしょうか。ウォーキングは、激しい運動とは違い、自分のペースで出来るので、年齢の制限はない。だから歩くことが出来る人であれば、誰でも気軽にできることです。そういつたことで、今では中高年に大変人気のある健康運動です。しかし、「歩く」とは言っても、散歩ではないので、のんびりダラダラと歩いても意味が無い。知識を蓄え、必要に応じた内容でしっかり歩きましょう。ダイエツト、運動不足の解消、健康増進など目的を持って長くウォーキングを続けたいです。



「雪」

小坂 美香(営業部)



今年に入って2度の積雪がありました。子供の頃は雪が降るとうれしくて、普段は寒くて外に出るのが嫌でも、この時は寒さなど気にせず喜んで外で遊んでいました。学校でも先生によっては授業をやめて、運動場で皆で雪合戦などをした記憶があります。この頃は雪と言うと、楽しいイメージしかありませんでした。いつも通る通学路も違って見え、学校までの時間があつという間に感じていた気がします。そんな寒さのせいなのか、今年は「しもやけ」が出来てしまいました。「しもやけ」なんて小学生以来で、まさか今になって出来るなんて驚いているのと、その時の辛さを思い出しました。靴が履けなくらい足の指全体が腫れて紫色になり、ひどい時は黒に近いくらいまでになって、これは指が腐ってきているのかな?と思えるような状態でした。冷えれば痛いし、逆に温めると痒くなり、どうしたらいいのか・・・。そうならない為にも、お風呂でマッサージュをしたり、冷やさないように気を付けていたので、今はなんとか治りました。今では、ひざ掛けとカイロが必需品になっています。また「しもやけ」にならないように気を付けたいです。